

白川わくわくランド ニュース

第13号

発行
●白川流域住民交流センター
(白川わくわくランド)
〒860-0854
熊本市東区銅町8-55
TEL・FAX(096)346-5454
ホームページアドレス
<http://www.wakuzenku-land.com>
メールアドレス
wakuwaku@wakuzenku-land.com

実践報告 本荘小学校 4年

総合的な学習「白川のひみごと大切さを知ろう」

本荘小学校の4年生は、白川を題材に総合的な学習に取り組みました。総時間四十五時間の単元の流れは左記の通りです。
教室を離れて、地域に入つての学習もやりました。また地域の方々などたくさんの人々との出会いがあり多くのことを学びました。それらの学習が、音楽「白川のががやき」となつてまとめられました。地域の伝統である太鼓を取り入れた表現は、校内音楽会で発表されました。

単元の流れ

全45時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	教科・他の活動との関連
一学期	<p>白川と谷かよくせう</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の石を拾いに行こう (2) 白川について知りたいたいことや調べたいことを話し合おう (8) 	<p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちづくりの力 よく考える力 	<p>国語 「谷のびいじゅつ」 社会 「わたしたちのくらしと水」 「水害をふせよう」</p>
二学期	<p>白川のことを みんなに教えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みに研究しよう 白川新聞や番組を作ろう (1・4) <p>水の美しさ、生き物、川のはじまり、水害などをテーマにまとめる</p>	<p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちづくりの力 よく考える力 自己表現力 	<p>国語 「新聞記者になろう」</p>
まとめ	<p>これからの白川について 知りたい事</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川改修工事と新代橋について話を聞こう (4) ボランティア活動をしている人に話を聞こう (2) 白川わくわくランドへ出かけよう (4) 「太鼓さ」をまとめよう (1) 1本時 	<p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の心を感ずる力 友だちづくりの力 自己表現力 よく考える力 友だちづくりの力 よく考える力 自己表現力 	<p>国語 「詩をつくろう」 音楽 ふしをつくろう 「日本の音楽」</p>
つたえる	<p>ひろめよう! 白川の大切さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽「白川のががやき」を作ってみなにならよう (1) <p>地域の伝説である太鼓を取り入れ表現する。</p> <p>地域の音楽会や校内発表会で発表する</p>	<p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちづくりの力 よく考える力 自己表現力 	<p>国語 「詩をつくろう」 音楽 ふしをつくろう 「日本の音楽」</p>
夢へ	<p>見よう!白川と音楽の後</p> <ul style="list-style-type: none"> 高まった自分を見つめよう (2) 	<p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己表現力 	<p>国語 「詩をつくろう」 音楽 ふしをつくろう 「日本の音楽」</p>



国土交通省の方に現在行われている代継橋の架け替え工事や白川の河川改修工事の話聞き、治水の学習をする。



日頃から白川を大事に守り育てておられる地域のボランティアの方の話聞く。



白川で底生生物調査
＜熊本大学工学部裏＞



＜音楽「白川のががやき」演奏＞

「…人の命を守ること、水の美しさを保つこと、人の心に残るふるさとの川であることが、大切なことです。それを太鼓のリズムで表現します。太鼓の鼓動は、とつとつと流れる水を表し、合奏は、白川という大自然のすばらしさを伝えます。…」進行のアナウンスを受けて、静かに、時に激しく太鼓の音が体育館を包んだ。

白川の橋 — ⑨ 世安橋



橋長156.9mで昭和48年に完成している。目的は遊歩道で、新世安橋とは目と鼻の先に架かる人と自転車の専用の橋。

右岸に熊本市が立てた「巨遇の瀬」の柱が立つ。それには、「鎌倉、室町時代、白川を渡る旅人はこの浅瀬を越えて行き来した。昔の旅は夜明けとともに出立するのがきまりであったので、「巨(あした) 過ぐる瀬」という意味から巨遇の瀬の名がついた。この地の無漏寺ではそれらの旅人に粥の施行をしたと伝えられている。ここでは天正八年(1580年)大



友方の阿蘇家の武将と薩摩の島津氏に組する肥後中央諸城主達との間で一大合戦が行われた。これを世に「巨遇の瀬の合戦」と呼ぶ」とある。

白川わくわくランド
寺子屋

「水紀行 水源地めぐり」

平成15年11月8日(土)、九州東海大学工学部の金子好雄先生に講師をお願いし、白川の源の一つである南郷谷の湧水池を見学し水の恵みを知るとともに、上流域の白川の流れにふれる学習を実施しました。南郷谷には塩井社水源、寺坂水源、湧沢津水源、池ノ川水源、明神池名水公園、竹崎水源、御献上汲所、白川水源などたくさんの水源があります。そして、その多くの水源が地域の人の生活に密着しているので、水の清らかさとともにそこに住む人の温かさを感じました。飲料水、灌漑用水はじめ、洗い物、水遊びなどなど。そこには私たちが忘れかけていた自然との共存の姿をみることができました。

塩井社水源

白水村最西の中松地内にある塩井神社の水源。参拝者のお手所として親しまれている。

湧水は、簡易水道、灌漑用水、洗濯・洗い物などの日常用水などに利用されている。地域住民の方の水に対する思いは深く、日頃より清掃活動が欠かさず行われ、下見に行ったときも当日も神社の総代の方に会うことが出来たし洗い場で野菜を洗う地域の方にも出会った。

水源から流れ出て白川に注ぐ塩井川は南阿蘇でただ一つ西から、東に流れる川でノンボリ(上り)川と呼ばれる。



池ノ川水源

ここの湧水は、飲料水、灌漑用水、生活用水とその水路が分けてあり、簡易水道で有りながら、現在でも「うまい水」を追求する地域の民家に給水されている。

この湧水池には池の下手に兜岩というものがある。この兜岩にかかる湧水の割合がその年の農作物の豊凶を左右すると言われ、灌漑用水だけでなく農家にとっては重要な湧水になっている。



鮎返りの滝

「...其南郷谷より奔るものは水温みて清し、故に白川と云う。」と古書にあるように、湧水等を集め南郷谷を下った白川は、立野で黒川と合流する前にこの鮎返りの滝を流れ落ちる。



高森湧水トンネル公園

高森湧水トンネル公園には次のような歴史がある。明治29年日清戦争直後、軍事産業路線として熊本-延岡間の鉄道施設の話が持ち上がった。昭和37年鉄道審議会が高森・田ノ影間の建設を決定、昭和48年には高森トンネル全長6480mの工事に着手した。しかし、昭和50年、トンネル入り口から約2キロの坑内で大量出水し、その量は毎分36トンにおよんだ。高森町の湧水8カ所が枯れ、住民の水道が断水する騒ぎになった。

昭和54年、高千穂線建設の計画自体が廃止の方向に進んだ。平成6年、工事を中断したまま閉鎖されていたトンネルと周辺を親水公園として整備。

総延長2056mのうち550mを一般に公開している。



<公園全景、奥がトンネル入口>



<トンネル内奥、ここから水が流れ出る>

白川わくわくランド寺子屋
冬の白川バードウォッチング
募集中!!

カモ類、サギ類、カイツブリなど

平成16年2月21日(土)
9:30~12:00

募集人数 20名(先着順)

対象 小学生以上

参加費 100円(保険代)



白川にいる
鳥たちを観察しよう

(お申し込み・お問い合わせ)

白川わくわくランド

T860-0854 熊本県東市銅町8-55 TEL・FAX 096-346-5454

http://www.wakuwaku-land.com

(主催) 白川流域住民交流センター・白川わくわくランド
wakuwaku@wakuwaku-land.com

2003年11月8日 秋の南郷谷水源地めぐり湧水水質測定結果

	水温(℃)	pH	電気伝導度(mS/m)
塩井社の水源	15.9	5.86	26.5
池ノ川水源	14.7	5.64	22.5
白川水源近く食堂	14.0	6.13	22.7
高森湧水トンネル	13.8	6.86	15.1

比較的地表に近い地下水の水温はその地域の年間平均気温に近いことが知られています。また、年間平均気温はその地点の標高によっておおよそ決まってきます。したがって湧水の水温もほぼ標高によって決まってきますが、今回の測定結果は、湧水によってかなり差異がみられました。pH値も池ノ川水源や塩井社の水源のように湧水としてはかなり低い結果でした。理由は不明ですが、火山性のガス中に含まれる二酸化炭素や微生物の放出した二酸化炭素が湧水に溶解した可能性も考えられます。電気伝導度(電導率)は、湧水中の溶けているイオンの量を示す指標ですが、高森湧水トンネルだけが、他の3箇所に比べ低くなっていました。

1年間で

白川わくわくランドでは、こんなイベントがありました！

2003年1月から12月までの1年間で、わくわくランドでは36回の寺子屋・イベントが行われました。季節ごとにある星座観察会や白川の治水・利水事業を学ぶバスツアー、夏にはカヌースクールなど、計1054名の方が参加しました。

1月～3月

☆白川の冬鳥バードウォッチング

望遠鏡の使い方や野鳥の観察の仕方を習いました。



☆星のバスツアー 「木星と星座たち」

城南町の県民天文台へ行き、木星についての話を聞きました。



☆炭の浄化作用実験

九州東海大学の金子先生を講師に迎え、竹炭の水質浄化作用の実験を行いました。



4月～6月

☆加藤清正ナゾ解きバスツアー

熊本大学の大本先生を講師に、くつろぎや鼻織り井手などの清正公の遺構を見学しました。



☆第6期白川わくわく塾

「有明海」をテーマに開講しました。



堤裕昭氏（熊本県立大学 環境共生学部教授）

7月～9月

☆白川わくわくお天気教室

熊本気象台の方を講師に迎え、天気予報のしくみや南極観測隊の話を聞きました。



☆2003夏リバーキャンプ (子供川の安全教室)

白川の河川敷にテントで宿泊。川についての知識や川での遊び方を学びました。



☆夏の白川リバースクール

カナディアンカヌーの漕ぎ方や、川での泳ぎ方を習いました。

講師：白川わんぱく探検隊

☆白川の魚たち

国土交通省熊本河川国道事務所の西課長に、白川にいる生き物のことを教えてもらいました。

10月～12月

☆秋の星座観察会

月に関する話を聞いた後、満月を観察しました。



☆秋の阿蘇谷に行く

阿蘇谷を巡り、黒川一の宮野木場や内牧遊水池を見学しました。



☆水紀行・水源地巡り

南郷谷にある塩井社水源地や高森湧水トンネルを見学しました。



白川わくわくランドの寺子屋・イベントに今年も、みんな参加してね～!

